

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます

第17号

日本共産党市会議員

2021年
5月19日

井本 有一
☎080-3831
-3159

イモト有 一 ニュース

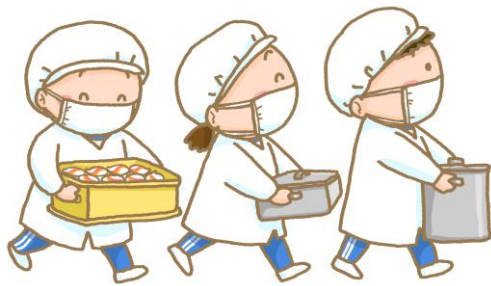


2月議会報告

新年度（2021年度）予算が決まりました。

新年度予算の主なものは、コロナワクチン接種体制確保約14億6000万円、コロナ対応の医療従事者慰労金約5000万円、中小事業者への再構築促進事業 約5000万円などです。

これまで市民の皆さんとともに要望してきたもので、予算化されたものもあります。



新たに予算化されたもの

○ 中学校全員給食に向けた調査費 約1000万円

○ こども医療費助成制度の所得制限撤廃のためのシステム改修 約500万円

しかし、見過ごせない問題点もあることから、日本共産党市会議員団として予算の「組み替え動議」を提案しました。

一般会計予算組替え動議の提案内容

○ マイナンバーカード普及の事務負担金約1億3000万円はカード普及率23.5%と低く、個人情報漏えいや情報管理への抵抗感があり、国に意見を上げるべき。

○ 市役所前広場（城前ひろ

ば）へ面積5㎡の店舗を3つ設置する約2600万円は取組みの方向性が不明確。

○ 地方税回収機構負担金約3300万円は、当初の目的である100万円以上の大口滞納が滞納がほぼ回収されている。

○ 自衛官募集事務費約15万円は、市が本人の同意なしに個人情報を提供するもので、問題がある。

これらの予算を減額し、PCR検査の拡充、ワクチン接種体制の確保、コロナ対策や小中学校の35人学級にむけての予算に組み替えるよう求めました。

「組み替え動議」は賛成少数で否決され、日本共産党議員団は15議案に反対し、16議案に賛成しました。

コロナ対策で申し入れ

5月11日（火）、日本共産党和歌山市会議員団から「新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ書（第7次）」



尾花市長（左端）に申し入れ書を手渡す市会議員団（右から二人目が井本）

を、市長応接室で尾花正啓和歌山市長に提出。市民からの切実な声を訴えました。

新型コロナウイルスの感染者が急増し、外出自粛や飲食店の営業時間が短縮されていますが、国民健康保険加入者がコロナに感染しても傷病手当金が出ない。保険料の減免も取り消されるかもしれない。これでは暮らしていけない「傷病手当金の支給と保険料の減免をしてほしい」と悲痛な声が届いています。

また、昨年度に多くの市内医療機関に協力していただいた「発熱外来診療・検査事業」への補助金を終了することは、あまりにも拙速な判断ではと指摘し、市民の命と暮らしを守るため、条例改正や市独自の軽減策、予算化を行っていただきたいと申し入れました。

共産党市会議員団では、これまでもPCR検査体制や医療介護、業者への対策などで市長に要望してきました。今後みなさんの意見をお寄せください。

マイドキュメント

ゴールデンウィークが明けたと思ったら、もう梅雨に突入してしまいました。体調管理は大丈夫ですか。

私はそんな中、二輪免許を取ろうと自動車学校に通っています。

原付のスーパーカブは乗っているのですが、街中では125ccのスクーターをよく見かけるようになりました。

日本独自規格の500ccより、世界的にニーズがある125ccに生産や開発がシフトされて来ているそうです。

30キロの速度制限もいやだし、この際二輪免許を取ろうかと通いだしたのですが、400ccの大きな教習車に乗ると、大きなバイクもいいなあなどと思いはじめています。

